



学校だより ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>

平成30年 1月 31日

2月号

横浜市立釜利谷南小学校

校長 鈴木 秀一

～行く・逃げる・去る～

校長 鈴木 秀一

新年が明けてもう1月が終わります。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と申しますがそれが実感されます。しっかり学習と生活のまとめをして新年度に備えていきたいです。先日の大雪にはびっくりしました。校庭の一部は1日中、日が当たらずまだ凍った場所があるため、本校が会場になる予定だった5年生の区球技大会が西金沢学園に変更になりました。また、報道ではインフルエンザが猛威を振るっているようです。近隣校からも学級閉鎖の情報が入ってきます。本校では学級閉鎖はまだありませんが、冬休み明けのB型から始まり、一番多い日で10名のB型欠席がありました。先週くらいからA型が出始め、1月30日現在ではA型で欠席している児童が9名、B型は0名です。引き続きうがい・手洗い、咳エチケットの励行をお願いします。



1月26日(金)に縦割り交歓給食がありました。縦割り活動で6年生がリーダーシップをとるのはこの日が最後です。給食を食べた後は6年生の作ったすごろくで遊びました。どのクラスのどの班も上級生から下級生まで楽しく遊べていました。6年生は「1年間仲よく楽しく過ごせたのでよかったです。名前呼び合えるようになりました。」と話していました。下級生は「リーダーのお兄さんが優しく接してくれるので楽しかった。」と話していました。下級生は自分が6年生になったらこのお兄さん・お姉さんのようなリーダーになろうと肌感覚で感じていることでしょう。

1月29日(月)昔遊びの会には沢木谷クラブ(パークタウンのシニアクラブ)の方々15名来校し、1年生に昔遊びを教えてくださいました。今年はコマの紐を手作りで新調してくださりましたので、例年より多くの子供がコマを回すことができました。羽根つき、お手玉、あやとり、めんこなどにも挑戦しました。給食も一緒に楽しく食べました。1年生は「あやとりで東京タワーを作るときにからまっちゃって難しかった。」「羽根つきで最初はなかなかうまくつけなかったけど少しずつ続くようになった。」「コマをうまく回せて楽しかった。」「羽根つきで名人にはね返して勝った。」「お手玉が続けてできた。」などと話していました。参加された沢木谷クラブの方からは「今、あやとりは男の子も女の子も一緒にできてよいですね。」「けん玉は上手な子にもっと教えてあげたいと思っても時間が足りなくて残念です。」「めんこはなかなか体を使って投げられず、ひっくり返すことができなかったです。」などの感想をいただきました。この活動も第10回ということで10年続いています。釜南子に貴重な体験をさせていただいている沢木谷クラブの皆様には本当に感謝申し上げます。今後、20回、30回と続くといいなと思いました。



1月29日(月)朝会で3・4組が学習の成果を発表しました。音楽に合わせて気持ちを合わせて「ソーラン太鼓」のダンスを踊りました。1月31日(水)に金沢区学習発表会では練習の成果を発揮して緊張の中でも楽しく演技してきました。

優勝したのです。その賞状を朝会で渡しました。「1年生の時から6年間続けている。柔軟が苦手なのでつらい思いもした。でも、友達と励まし合いながら毎日の練習を続けることができた。これからもがんばりたい。」と話していました。「目標をもって努力を継続すること。素敵なお仲間がいること。」が日本一という結果につながったのです。佐藤さんも釜南子の皆さんも夢や目標に向かって頑張っていってほしいです。

